

日本列島が次々と梅雨入りし 早くも気温35℃を越える真夏日が東北地方で記録されこの先どうなるのだろうか大変心配だ。

通勤の沿道の田には水が張られ 日々田植えが進んでいる。  
耕運機で田ならしの済んだ所では“シラサギ” “カラス” “すずめ” が昆虫をついばむ光景が見られ、ツバメも雛のえさを探しているのか 低く飛んでいる。

一見毎年の季節の光景が営まれていても まだまだ新型コロナウイルス感染の心配は去らず 三密を避けなければならない生活が続きそうで、梅雨長雨・豪雨と共に気が滅入りそう。

一日も早く 感染を気にする事なく外出できたり、人との交流も自由に出来る世の中になる様に、そして『普通の生活』がいかにありがたい事なのかと毎日感じている。

現在 居住地では感染者の情報は無いが、少し離れた北九州市ではいまだ感染者の報告が上がっているのでもう一度気をゆるめることは出来ない。

世界中のコロナ禍が早く終息することを切に祈ります。



6月誕生日の方  
おめでとうございます

稲 員 様 4日

6月水無月 (みづき) 気象では梅雨に入る日

- 芒種(ぼうしゅ)イネやムギなど穀物の種をまく時期
- 弥涼暮月 (いすずくれづき) ・ 涼暮月 (すずくれづき)
- 風待月 (涼風の待たれる月) ・ 常夏月 (とこなつづき)
- 蝉羽月 (せみのはづき / 蝉の羽の様な薄い着物を着る)
- 鳴神月 (なるかみづき / 雷がしきりに鳴る)
- 松風月 (まつかぜづき / 松籟(しょうらい)が吹く月)



## 暦

- 1日 衣 替 え …… 冬服を夏服に替える。昔は 綿入れ(冬用)や裏地がついた着物を 単(ひとえ・裏地がついていない着物)に入れ替えていた。
- アユの解禁 …… 地域により異なる。私が関東に居た50年程前、多摩川や相模川には生活排水が流れ込み “あゆ” どころか他の魚も生息できないのではと思うほど臭く汚く濁っていた。しかしニュースで見る限り今は水質改善が進み魚道も整備され非常に流れがきれいである。う〜ん・塩焼きがおいしそう!
- 4日 虫歯予防デー …… 様々な歯磨きや口内ケアのブラシなど店のラックに沢山並び 選ぶのに迷うほどである。口内ケアはもちろん大切な事であるが、食べ物にも 気を使うべきでは無いかと思う。昔は堅い食べ物が多かった。食卓にはレンコン・ゴボウ・タケノコ・肉も赤身・鳥肉も親鳥肉・鯨肉が並び、おやつは せんべい・炒った豆・究極は八幡の堅パン等をガリガリかんでいた。しかし現在は余りにもやわらかい食べ物が多い。鳥はブロイラー・ハンバーグ・シチュー・カレー・たまご料理等 ほとんど 2~3回しかかまわずに胃に流しんでいるのではないかと思う。良く噛んで食べる事は子供の顎の発達と歯並びの為に、又 高齢者は唾液がよく出るので消化に良い事はもちろん誤飲を少なくできるのではと。(私の感想である)

[ 10日・時の記念日 ] [ 21日・父の日 毎年6月第三日曜日 ] [ 21日・夏至 北半球では昼が最も長く夜が短い ]